

新春のごあいさつ



仙北市議会議員 黒沢 龍己

新春のごあいさつを申し上げます。

昨年12月定例会中に思いがけず入院してしまい、皆様にご心配や、ご迷惑をおかけしました。深く、お詫び申し上げます。健康の大切さが身に染みた年末でした。

さて、未だに世界中で猛威を振るう新型コロナウイルスは、私達の暮らしを一変させました。

会議においては、徹底して集会方式を避け、オンラインによるリモート会議へと移行しつつあります。

またAIなどの著しいデジタル化の進展により、これからの働き方さえも大きく様変わりしようとしています。

しかし、いかにデジタル化社会にあっても、地域の様々な課題をすくい取って、その解決のためにアイデアを提供することは、やはり「人」でなければできないことです。

「人」とのふれあいでは、温かい思いやりにあふれた言葉に救われるように、日々の生活に欠くべからざることで、新型コロナウイルスによって改めて気づかされました。

仙北市が誕生してから15年を迎えた昨年12月には新角館庁舎が落成しています。

新しい明るい庁舎の完成に伴い市の組織も改編されましたが、やはりそこで働く「人」が最も大切だと思います。

これからの議会は「どうしてやらないのか」と責め立てるばかりではなく、皆様と共に「どうすればいいのか」を考える議会を目指します。

また、仙北市だけで完結し得ない事案が増える中、同じ課題を抱える自治体と協力し合い、必要に応じて国へ働きかけるなど、こうした調整に努め、行動する議会を目指したいと考えています。

未曾有のコロナ禍ではありますが、皆様におかれましては健康に十分に留意され、本年も変わらぬご指導の程、よろしくお願い申し上げます。

令和3年1月吉日